

# 「核兵器のない世界」にチェンジを！

## 日本は唯一の被爆国としてのイニシアチブを

### 草の根の声と行動が国際政治をつごかす

広島・長崎への原爆投下から63年と4ヶ月。被爆者の核兵器をなくせとの声は、本当に大きな流れを創り出しました。軍縮問題を審議する国連第一委員会では、118の国からなる非同盟運動や新アジェンダ連合に加え、貧困に苦しむアフリカ50カ国の国家連合代表も、中南米の国家連合リオグループの代表も等しく、核兵器の廃絶を訴えています。さらにアメリカと軍事同盟を結ぶノルウェーやオーストラリアの代表まで「核兵器のない世界を」と主張しています。潘基文（パン・ギムン）・国連事務総長も講演で、核抑止ドクトリンの危険を指摘し、国連憲章をはじめ政治的な意志の力によって、国際的な平和と安全保障への新たな一歩を踏み出すことをよびかけました。草の根の声は間違いなく国際政治に届いています。

### ブッシュ核政策に米国民がノー

核超大国の米国でも「核兵器のない世界」を掲げたオバマ氏が大統領選挙で勝利しました。自らは安全保障を理由に強大な核兵器を持ちつづける一方、核拡散阻止を口実に核使用をも選択肢とする先制攻撃戦略をうちだしイラク戦争を強行してきたブッシュ政権に対して、国民が明確な反対の意思を示したのです。

2010年春にニューヨークで開催される核不拡散条約（NPT）再検討会議にむけ、2000年に核保有国も合意した核兵器廃絶の「明確な約束」を今度こそ。一人ひとりの行動が世界を動かします。

「核兵器のない世界」を求める国際署名にあなたの願いを託してください。

### 米戦争支援ではなく非核平和の先頭に

海上自衛隊のインド洋での給油支援を継続する新テロ特措法延長法案の国会審議のなかで、陸上自衛隊の輸送ヘリをアフガニスタン本土に派遣することを政府が目指していることが明らかになりました。全土が激戦地のアフガン本土へのヘリ派遣は、戦争はしない・武力はもたないと定めた日本国憲法第9条違反です。唯一の被爆国・日本が果たすべき役割は、米国の戦争支援ではなく、非核平和の世界をつくる先頭に立つことです。

### 原水爆禁止日本協議会

〒113-8464 東京都文京区湯島2-4-4  
TEL.03-5842-6031 FAX.03-5842-6033  
<http://www.antiatom.org/>